

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	浴槽水水質検査回数	回	浴槽水残留塩素検査回数	目標	1,212	1,204	1,208
				実績	1,216	1,204	
成果指標	法定4項目水質検査回数	回	検査機関が実施したレジオネラ菌を含む4項目検査回数	目標	4	4	4
				実績	4	4	
成果指標	開館日数	日	利用者の重大事故等を防止し、安全に開館した日数	目標	303	301	302
				実績	304	301	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>
あじさい館を通じて市民相互交流が生まれ、市民の連帯意識の形成促進が期待される。市民の連帯意識の形成を図るためにあじさい館が活動拠点として果たす役割は大きい

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>
浴槽水及び法定4項目水質検査(年4回:6月、9月、12月、3月)を年間通じて実施したことにより、福祉館として安全に開館したことで概ね目標の成果が得られた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>
高橋興業に一括管理委託業務を委託し、施設の管理運営を行っている。当該事業について効果的な管理運営等についてお互いに協議している。

■課題と対応方針

課題	施設の経年劣化により、修繕を要する箇所が次々と発生する中、予算縮小により修繕費予算の確保が厳しい状況にある。
次年度における対応方針(改善方針)	施設の修繕等については、安全で快適な施設利用に向け、緊急性や必要性、利用者ニーズを踏まえ、計画性をもって予算確保に努める。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	今後も末永く拠点施設として定着させるため、適切な維持管理を行い施設機能の水準を保持することを目指す。また、FM事業の中で適正管理を検討するとともに、指定管理者制度の導入も検討していく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	あじさい館長 中泉 栄一 担当課名 あじさい館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	あじさい館も17年目を迎え、傷みや故障が多く見受けられることから、利用者の安全を第一に考え、施設の適正な修繕、管理を進めていく。また、指定管理者制度の導入の準備を進めていく。

二次評価【部長評価】	
部長名	小松塚 隆雄 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	長期的な存続に向け、施設の計画的な修繕の必要性が増すよう、利用者の増加につながる運営改善の一策として指定管理者制度の導入を検討してください。